

四季の丘団地にとって宮田副市長を応援して、団地の懸案事項をこの機会に解決しましょう。団地の懸案事項（別紙参照）を、羅列しました。

自治会の会長として、何度も壁に突き当たって返されてきました。このような機会に頑張る実現させなければなりません

宮田市長を是非実現させなければなりません。残念ながら、団地住民の団結力の気迫が弱く、団地に票数が有るにも関わらず、既存の市街地や集落地の人から、馬鹿にされ、侮（あなど）られ、軽く見られています。このような機会に宮田副市長を、団地が一丸と成って応援しましょう。

宮田副市長を支援する指示は、某筋から有りました。このような機会は滅多に有りません。このようなチャンスに、やっと、団地の懸案事項を解決する時が来たのです。

- 団地の懸案事項の中で
- 1、汚水処理場を防災倉庫に転用する。市役所に無償譲渡
 - 2、公園の管理を市役所と協議する。公園法により市が管理
 - 3、市の道路の除草管理は市役所が管理する

供用施設管理費を節約する為に、団地のお金を使わないで、成るべく市役所をお願いします。皆さんの負担金を軽減する努力が必要です。団地の住民が支払う、固定資産税、市民税、等 常陸太田市に団地が多額のお金を貢献しているにも、関わらず団地が恩恵を受けている金銭は、微々たるものです。団地が貢献している金銭が多額で有るにもかかわらず、他の地区で流用されています。この辺を改革しませんと団地の皆さんの負担（共用施設管理費）を軽減する事が出来ません。要は団地の皆さんが団結して、新しい宮田市長を誕生させれば、汚水処理場を市役所の防災倉庫に転用出来る可能性が出て来ます。

この事は、新しい市長が下水道会計で、減免措置をすれば良い事です。大久保市長が誕生する時、眞弓団地では処理場が経年劣化で破綻寸前でした、修理費の費用も枯渇していました。その為 眞弓団地では、住民全員の名簿の陳情書を市役所に提出し、処理場を消防の貯水槽に転用したのです。実際は、当時市長選挙が有りましたので、団地として団地推薦をして応援する事を約束して大久保市長を誕生させたのです。

四季の丘団地でも、眞弓団地のような事例が有りますので、団地推薦として、宮田さんを応援して、汚水処理場を防災倉庫に転用出来れば、団地の持ち出し資金（供用施設管理費）が節約出来ます。皆さんの一票、一票を結集して、新しい市長を誕生させて、団地の資金が枯渇しない様にしなければなりません、市長を誕生させなければ、今でも団地の住民は、纏まりが無いと太田の選挙消息通から馬鹿にされています。だから、団地推薦の候補者を決めて、対応しなければなりません。

総会の前から推薦者を決めて置かなければなりません。この事が出来れば、新しい市長を誕生させて、市政に多大な影響力を与える事が出来ます。団地の皆さんが納付した、固定資産税、市民税等が余りにも団地の為に還元されていない事にしっかりと気付くべきです。団地の住民が馬鹿にされているのです。団地の住民は、もっと怒るべきです。